

(福井)

福井・いしもり 石盛遺跡

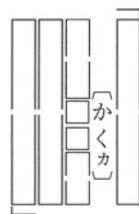
- 1 所在地 福井市石盛町
2 調査期間 二〇〇二年度調査 二〇〇二年(平14)七月一~二
3 発掘機関 福井市文化財保護センター
4 調査担当者 天谷賢一・長谷川健一・三澤繁忠・大川進
5 遺跡の種類 城館跡
6 遺跡の年代 古墳時代~室町時代
7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地は福井市北部、旧北陸道沿いの石盛町集落の東側水田に位置する。「館ノ中」「館ノ前」の字名が残つており、石盛城に比定されている。調査では堀を伴う城館跡の一部が確認され、館内部で掘立柱建物・井戸などを検出している。

出土遺物には、かわらけ・越前焼・瀬戸美濃焼・瓦器・中国製陶磁器・漆塗椀・銅錢・鐵鎌・鐵釘・土師器・須恵器などがあり、大半が一四世紀から一五世紀のものである。木簡は素掘り井戸の埋土中から、かわらけ・越前焼・漆塗椀片とともに出土している。

8 木簡の釀文・内容

(1)



104×68×1 881



左右両端は欠損している。両面に墨書きが認められるが、表面中央やや下部に「か」「く」らしき文字が確認できるだけで、文意はとれない。

(大川進)

